

令和7年度よこすか環境教室（環境教育指導者等派遣事業）一般向けテーマ一覧

水環境

番号	テ　　マ	内 容	学習の目標・効果	指導者	対象	授業時間	授業形式	授業ができる目安 （最大人数）	必要物品	備　考
2	地球温暖化と海	地球温暖化によって海面上昇などの現象が海で起こる仕組みを学ぶ。	なぜ、地球温暖化を防ぐ必要があるのか、その理由を理解し、積極的な環境活動に取り組むようになることを目指す。	市川　洋	高校生、一般	45分	講義	100名程度	・プロジェクタ ・スクリーン	・実施場所：教室 ・事前打ち合わせは2回程度を希望

身近な自然

番号	テ　　マ	内 容	学習の目標・効果	指導者	対象	授業時間	授業形式	授業ができる目安 （最大人数）	必要物品	備　考
9	鷹取山で自然観察	鷹取山の観察路を歩いて自然観察をする。 ①五感を使って自然体験。クサギ、ヤブニッケイ、カラスザンショウなど匂いのある葉っぱや噛むと苦いニガキを感じてもらう。 ②ビンゴ票を使って野草、昆虫などを発見する。	鷹取山を歩き、地元の自然を学び、興味・関心を持ってもらう。	鷹取山自然観察会会員	小学生、一般	90分	野外活動	20名（1クラス）	・自然観察の自然観察ガイド	・屋外での活動のため7，8，9月については、熱中症対策として実施は避けています。 ・服装は、防虫目的のため長袖、長ズボンをお願いします。
10	みんなのトンボ池 ～人もトンボも生きる街は？～	トンボのすむ池の環境について、グループなどの討議を通して、自分とは違う観点で環境についてみているほかの人の意見を聞く。	人間の土地利用が生き物の生息地に与える影響が検討できる。	林　　但	小学生（高学年）、中学生、高校生、一般	90分～120分（時間調整可）	実習体験、ワークシヨップ	30名程度	・課題シート ・建物ほかのシート ・トンボ池 ・マジック ・ノリ ・模造紙 ・クレヨンまたは色鉛筆他	・事前打合希望
11	落ち葉のグラデーション	座学と野外学習などの併用やり方はいろいろあり、 ①落ち葉を5枚拾い順に並べる、 ②形や大きさの違いはっぱを集める ③葉っぱでじゃんけん ④葉っぱでアート　など	「落ち葉」といってもいろいろな色や形があること認識する	林　　但	小学生、中学生、高校生、一般	45～80分（時間調整可）	実習体験、ワークシヨップ	30名程度	・タコ糸 ・テープ ・白い紙 ・黒い紙	・希望する時期は3月～6月及び10月～11月くらい ・事前打合希望
12	猿島って知っている？ ～日本遺産の猿島を見てみよう！～	座学 エコミュージアム猿島について自然から歴史的なことまで調べてみよう！（まぼろしの蝶、砂浜、フランス積み/イギリス積み、時代ごとの大砲など）	・歴史的文化遺産を知る ・植物や生物の営みを知る	林　　但	小学生、中学生、高校生、一般	45分（時間調整可）	講義、野外活動	30名程度	・筆記用具 ・ワークシート　他	・事前打合希望
13	ホテルを守るってどういうこと？ ～ホテルが棲んでいる環境を考える～	座学 パワーポイント使用。津久井の自然を守る会の活動紹介から生き物の生態系について説明し、湿地や田んぼの重要性を知る ＊希望があれば津久井の自然を守る会活動現場の案内も可（津久井）	生態系のピラミッドから底辺にある田んぼや湿地の生き物に関心を持ってもらう。人間以外は棲んでいる環境を変えることができないということを知る。	津久井の自然を守る会	小学生、中学生、高校生、一般	35分	講義	なし	・パソコン ・スクリーンなどスライドを投影できるもの ・教室はどこでも可	※打合せ日時は調整させていただきます。

廃棄物

番号	テ　　マ	内 容	学習の目標・効果	指導者	対象	授業時間	授業形式	授業ができる目安 （最大人数）	必要物品	備　考
17	楽しく学ばごみ分別 ～ごみは正しく分別すれば資源になるよ！～	・実践参加型の分別紙芝居を見て参加していただきます。 ・楽しい仕掛けがあります。 ・子どもも大人も分別を楽しく体験していただけます。	・ごみ分別を楽しく学ぶ。 ・分別を身近な生活で活かす。 ごみの簡単な歴史、現状、分別の必要性、分別することでどんな効果があるのか？など。	渡辺　智子	園児、小学生、中学生、高校生、一般	40分～（内容による）	講義	10～40名（対象年齢によるため要相談）	・紙芝居用のテーブル(机) ・分別するものを広げるスペース(畳一畳分くらい)	・ご希望内容に合わせてご相談。 ・打ち合わせは一回はできるとよいです。

番号	テ　　マ	内 容	学習の目標・効果	指導者	対象	授業時間	授業形式	授業ができる目安 (最大人数)	必要物品	備　考
18	海のごみ	①座学で現状の海について ②できれば海でゴミ拾い、自然観察など ③クラフト　　など要相談	・海辺のごみはどこから出てくるかを知る ・ごみで困っていること、私たちにできることはないか ・漂流物ほかでクラフトの楽しさを知る	林　但	小学生（3～6年生）、中学生、高校生、一般	45～90分 (時間調整可)	講義、実習体験、野外活動	30名程度	・筆記用具 ・プリント ・バインダー	・希望する時期は3月～6月及び10月～11月くらい ・事前打合希望
19	物を大切にするってどういうこと？ ～身近なごみや不法投棄ごみについて考える～	①座学 パワーポイント使用。武山山中の不法投棄現場と撤去、以降の活動を説明。不法投棄問題について考える。 ②身近にあるごみ問題目を向ける通学路や街中のポイ捨てごみの収集の実施。 ＊希望があれば武山ハイキングコース（一部）の案内可	①身近なごみ問題に関心を持てよう ②ごみを減らすためにできることを考える	津久井の自然を守る会	小学生、中学生、高校生、一般	①座学：30分 ②野外活動・ごみ収集：30分	講義、野外活動	なし	座学 ・パソコン ・スクリーンなどスライドを投影できるもの ・教室はどこでも可 野外活動 ・ごみ袋、軍手、トング	座学と野外活動同時が難しければ2回行います。 ※打合せ日時は調整させていただきます。

総 合

番号	テ　　マ	内 容	学習の目標・効果	指導者	対象	授業時間	授業形式	授業ができる目安 (最大人数)	必要物品	備　考
23	環境への理解と保全活動への道筋	・設計事務所の所見になって、二つの事例を考えてみる。 ・建てるべきか、建てざるべきか。 ・みんなのトンボ池の進化型→これが欲しかった？ ・NHK地球データマップを読んでSDGsを考える。	課題解決ワークショップを通じて、保全活動のプロセスとタイムラインの理解と実践をはかる	榎本　裕	中学生、一般	1～3時間	ワークショップ シヨツプ	20名	・模造紙 ・付箋 ・マーカー ・A4用紙	・プリント2枚

休日、春・夏・秋休みの野外体験学習

番号	テ　　マ	内 容	学習の目標・効果	指導者	対象	授業時間	授業形式	授業ができる目安 (最大人数)	必要物品	備　考
28	古道散歩とエコロジカル	・エネルギー、ごみの新旧モデルから問題を分析考察していく。 ・しょうぶ園～沢山池の里山～山科台～しょうぶ園を散策する。 ・山道や林を歩きながらの謎解きや、昔の暮らしの追体験を行います。	エネルギーや廃棄物から循環型の生活を考える	榎本　裕	小学生、一般	3時間	野外活動	20名	ハイキングに適した装備	